

HC2012

HOKKAIDO CAMPOREE 2012

MAKKARI CAMP SITE

共に進もう 真の頂へ

活動報告

under 30

ボーイスカウト北海道連盟 ローバースカウト・若手指導者

メンバー紹介

氏名	所属	担当
飯田 貴光	函館第2団	<ul style="list-style-type: none"> ・ Under30 大会チーフ ・ プログラム「シテイスイープ」企画・運営
柴崎 勇人	札幌第18団	<ul style="list-style-type: none"> ・ Under30 企画代表 ・ ベンチャー奉仕班 チーフ ・ プログラム「シテイスイープ」企画・運営 ・ 開会式・閉会式 司会者 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）進行係 ・ 大会テーマ設定
村田 留利子	函館第2団	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム「シテイスイープ」企画・運営 ・ 開会式・閉会式 進行係 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）進行係
寺井 匠	函館第2団	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム「シテイスイープ」企画・運営 ・ 開会式・閉会式 進行係 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）司会者
今野 桂子	千歳第1団	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム「シテイスイープ」企画・運営 ・ 開会式・閉会式 進行係 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）進行係
加藤 由麻	北見第2団	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンポリー under30 メンバー ・ ベンチャー奉仕班（国旗・大会旗掲揚・降納指導） ・ プログラム「シテイスイープ」運営 ・ 開会式・閉会式 進行係 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）進行係
稲葉 泰成	札幌第18団	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンポリー under30 メンバー ・ 総務・管理部（野営管理） ・ 開会式・閉会式 進行係 ・ 宗教儀礼（仏教礼拝）進行係
西川 明子	函館第2団	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム「シテイスイープ」企画

北海道キャンポリー2012 概要

【趣旨・目的】

ボーイスカウト運動は野外活動を中心とし、心身ともに健全な青少年の育成を目的とした社会教育運動であり、スカウト活動の規範となる「ちかい」と「おきて」を実践しながら野外活動や奉仕活動、国際交流活動等を通じ、スカウト仲間のみならず地域や学校関係諸団体の仲間と相互理解を深めることによって、社会に貢献できる人材育成を目指しております。

会場となる真狩野営場は蝦夷富士・羊蹄山を仰ぎ見て雄大な自然に囲まれた四季を通じてさまざまな楽しみ方・訓育のできる場所です。

この真狩野営場で北海道全域のスカウト達と地域の青少年を対象とし、スカウト運動のパトロールシステムを基盤に参加スカウトはもちろん、地域の青少年も含め友情を深め様々な体験を通じて、個人の成長と社会に広く理解される機会にします。

＝パトローリングを実践する＝
＝エコキャンプをスカウト自身が考えて実践する＝
＝全道のスカウトの友情と交流を深める＝

【名 称】 北海道キャンポリー2012

【テーマ】 ともに進もう 真の頂へ

ともに進もう：「すべての参加者（スカウト仲間・関係者・地域の方々など）の友情と交流を深める」・「多くの実践や挑戦していく」キャンポリーの趣旨・目的へ進んでいくことを表します。

真の：キャンポリーは参加者に多くの「真実、本当の、純粹、正しい」ことを経験する機会であることを意味します。またキャンポリー会場である「真狩村」を表します。

頂へ：「上、てっぺん、限界」へ向かっていく実践と挑戦を意味します。また、真狩野営場から仰ぎ見る「蝦夷富士」・羊蹄山を表します。

【主 催】 ボーイスカウト北海道連盟

【期 間】 平成24年8月3日（金）～6日（月） 3泊4日

【会 場】 虻田郡真狩村泉75-1 ボーイスカウト真狩野営場

ここまでの経緯

第53回全道スカウティング研究協議会「under 30の集い」

平成23年10月22日 虻田郡洞爺湖町

参加した全道のローバースカウト・若手指導者との交流・情報交換とテーマ「我々の努め」について話し合った。

話し合いの結果、平成24年度に開催決定される「**北海道キャンポリー2012**」の**参加スカウトへのプログラム提供**したいことで決定し、実現のため北海道連盟への提言をまとめた。

- ・提供プログラム内容検討のため参加メンバーによる集いを開くために支援
- ・上記開催までの間参加メンバーによる連絡の為に連絡先の交換を行う
- ・この提言に賛同する同年代のスカウト関係者を参加メンバーの交友を利用し募る。

「after under 30の集い in 函館」

平成23年11月19日 函館市

上記の提言を受け、北海道連盟の支援のもと、「after under 30の集い in 函館」が開催され、参加者同士の交流・情報交換と提供プログラム内容検討を行った。

検討の結果、大会プログラム「**シティースイープ**」の**企画・運営を under 30で行う**ことで決定し、これまでの枠にとらわれないような内容のプログラムにすることを確認し、構想・企画を下記にのようにまとめ、計画段階へ移行した。

- ・真狩に関係ないような事前設定→プログラムを進めていくにつれて真狩に関係するものが現れ、それを突き止めていく流れとする
- ・プログラムのテーマソングがある
- ・ある条件を満たした参加班（スカウト）には記念品（ステッカー）を制作し贈呈する
- ・普段の班活動・スカウト技能を試す機会を取り入れる

「北海道キャンポリー企画準備会」

平成23年12月11日 北海道連盟会館

北海道キャンポリー企画準備会コアメンバーのunder30代表として柴崎が参加。北海道キャンポリー基本実施要綱案の検討を行った。

検討の結果、under30の企画・運営が決まったプログラム「シティースイープ」は大会3日目の場外プログラムとして**参加スカウトの必須プログラム**となり、与えられた時間は3時間と参加見込み調査によるスカウト数を下により詳細な計画を進めることになる。

また、under30は大会プログラムの企画・運営の他にキャンポリーの運営奉仕が伝えられた。

「under30 真狩村現地調査」

平成24年6月3日 真狩村

under30が運営するプログラム「シティースイープ」の計画が進み、キャンポリー2ヶ月前に迫り、真狩村での現地踏査とプログラム内容の確定のためunder30独自で決行した。

全4時間にわたる現地調査と打ち合わせの結果、プログラム「シティースイープ」のコースが決定し、プログラム計画も最終段階へ進んだ。

「北海道キャンポリー2012 プログラム部会」

平成24年6月16日～17日 真狩野営場

キャンポリーのプログラム部会実行委員としてunder30メンバーが参加し期間中のプログラムの進め方・現地踏査・真狩野営場整備を行った。

ここでunder30が運営するプログラム「シティースイープ」の**計画が認可**され、プログラム当日までの資材購入などの事前準備を進めるまでとなった。

また、under30の大会運営奉仕に開会式・閉会式の進行とベンチャースカウト奉仕班の指導が決定した。

開会式

【日時】 第1日 8月3日（金）19:00～

【担当】 ・司会：柴崎
・国旗・大会旗掲揚ベンチャー奉仕班指導：加藤
・スカウト誘導：稲葉
・来賓誘導：今野
・CDプレイヤー操作：村田

【場所】 アリーナ

【内容】 ・スタッフ打ち合わせ・会場確認・スタッフ配置
・入場開始アナウンス・参加者入場
・開会・開会宣言
・国旗掲揚・君が代
・大会旗掲揚・北海道連盟歌
・大会運営本部長（理事長）挨拶
・来賓紹介・挨拶
・大会編成隊長紹介・参加団紹介
・ソング「この道をいく」
・閉会・退場

【評価】

- ・台本をはっきりと話せた。
- ・スカウトの入退場はスムーズに行えた。
- ・国旗掲揚は君が代の演奏時間に合わせて、大会旗掲揚は北海道連盟歌に合わせて掲揚できるようベンチャー奉仕班に指導を行い、スムーズな掲揚ができた。
- ・CDプレイヤーの調子が悪く、北海道連盟歌の演奏が流れないトラブルが発生したが、直ちにアカペラ斉唱に切り替えた。

【反省】

- ・司会は一部噛んでいた。
- ・CDプレイヤーの調子が悪く、北海道連盟歌の演奏が流れないトラブルが発生した。湿気が原因と思われるので機材の取り扱いに注意する。

ベンチャー奉仕班指導

【日時】 大会期間中

【担当】 ・チーフ：柴崎
・国旗・大会旗掲揚・降納指導：加藤

【場所】 ベンチャー野営地等

【内容】 ・国旗・大会旗掲揚・降納指導
・営火準備・指導
・連絡事項伝達

【評価】

- ・ベンチャー奉仕班の奉仕活動が積極的であった。
- ・ベンチャー奉仕班が企画・運営した営火はスカウトの笑顔が絶えず大成功と言えるものだった。
- ・国旗・大会旗掲揚・降納は全日程通してもスムーズな掲揚であった。

【反省】

- ・時間厳守と服装点検の指示を徹底できなかった。

宗教儀礼（仏教礼拝）

【日時】 第4日 8月6日（月）9：00～

【担当】 ・司会：寺井
・敬礼文・三帰依文先導：加藤
・聖句朗読：今野
・ソング「永遠のスカウト」先導：柴崎
・CDプレイヤー操作：村田
・しおり配布：稲葉

【場所】 アリーナ

【内容】 ・合掌・礼拝
・敬礼文・三帰依文
・聖句朗読
・おはなし
・ソング「永遠のスカウト」
・合掌・礼拝

【評価】

- ・大会期間中に仏教礼拝の主任からの奉仕の要請により実現した。
- ・ under30 メンバーが浄土真宗本願寺派と真宗大谷派のスカウトであったため内容を理解し、スムーズな進行ができた。

【反省】

- ・ 特になし

閉会式

【日時】 第4日 8月6日（月） 10：00～

- 【担当】
- ・ 司会：柴崎
 - ・ 国旗・大会旗掲揚ベンチャー奉仕班指導：加藤
 - ・ スカウト誘導：稲葉・寺井
 - ・ 来賓誘導：今野
 - ・ CD プレーヤー操作：村田

【場所】 アリーナ

- 【内容】
- ・ スタッフ打ち合わせ・会場確認・スタッフ配置
 - ・ 入場開始アナウンス・参加者入場
 - ・ B級グルメコンテスト優秀班表彰
 - ・ キャンプ場開拓班表彰
 - ・ 各隊優秀班表彰
 - ・ 祝声
 - ・ 開会
 - ・ 大会実行委員長挨拶
 - ・ スカウト代表挨拶
 - ・ 日本連盟歌
 - ・ 国旗・大会旗降納
 - ・ 閉会・退場

【評価】

- ・ スカウトの入退場はスムーズに行えた。
- ・ 開会式の反省を生かし、CD プレーヤー操作もトラブルなく行えた。

【反省】

- ・ 司会は開会式より噛んでいた。

プログラム「シティースイープ」運営報告

【日時】 第3日 8月5日(日) 午前10:00~12:00 午後13:00~16:00

【担当】

- ・飯田(チーフ):安全確保・資材管理(印刷物・記念品)
- ・柴崎(企画代表):安全確保・資材管理(印刷物・追跡サイン)
- ・村田:プログラムブース運営・資材管理(プログラムブース)
- ・寺井:安全確保
- ・今野:安全確保
- ・加藤:安全確保・プログラムブース運営

【場所】 真狩村市街地

【内容】 プログラム「シティースイープ」運営

- ・スタッフ打ち合わせ・会場確認・利用施設挨拶
- ・スタッフ配置・指令文設置・追跡サイン設置・撤去
- ・スカウト安全確保・プログラムブース設置・撤去

【資材・経費】 支出合計4189円。北海道連盟が会計処理・現金支払い済

品名	数量	備考
油性マジック(5色入り)	2	回答用紙書き込み用。村田用意
布テープ(70m巻・白)	1	追跡サイン用。柴崎事前購入
封筒(B4・12枚)	8	指令書を入れる。柴崎事前購入
チャック付ポリ袋 (B4・12枚)	8	指令書・回答用紙防水対策。 柴崎事前購入
麻紐(70m巻)	1	追跡サイン・プログラムブース用。 柴崎事前購入
ぬいぐるみ	1	指令書を入れる。村田用意
A4印刷用紙	100	印刷物用。飯田事前印刷。
飴(180g)	10	プログラムブース用。柴崎購入
トランシーバー	3	緊急連絡用。飯田用意
ペグ	4	プログラムブース用。村田用意
プリンター	1	緊急印刷用。飯田用意
スカウトロープ	1	プログラムブース用。村田用意
ペットボトル(2ℓ)	1	プログラムブース用。村田事前購入
ゴム風船(5色入り)	2	プログラムブース用。柴崎事前購入
大会記念品(ステッカー)	100	柴崎デザイン。飯田制作・発注

【運営体制】

- ・スカウトには指令書・追跡サインによって順路を示し、真狩村を散策する。
- ・「細川たかし像」・「道の駅真狩フラワーセンター」等、市街地の各地を散策や地元の方々との交流によって、真狩村の魅力を知る。
- ・スカウト技能やパトローリングを試す場としてプログラムブースを設置する。
- ・市街地交差点・横断歩道・駐車場に交通安全確保のため人員を配置する。
- ・少人数での運営なので、安全確保の人員をスカウトの進行具合に合わせて、ローテーションによって配置する。
- ・プログラム終了後にスカウト全員でソングを歌い、参加記念品を贈呈する。
- ・スカウトの進行状況やプログラムの進捗状況を携帯電話・トランシーバーを用いて連絡交換を行う。
- ・プログラム終了後は直ちに資材を撤去・回収する。

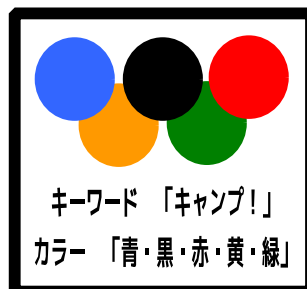
【プログラム展開】

- ・「TAKASHI★」と名乗る者から様々な指令を受け、真狩村を散策する。
- ・指令に答えていくと「TAKASHI★」の正体が明らかになってくる。
正体は細川たかし氏であり、彼のことについて分かったことを回答用紙に記入してもらう。
- ・コースは総延長約4 km 歩行時間90分～120分を想定。
真狩野営場→道道97号線経由→細川たかし記念像→道道66号線経由→道の駅真狩フラワーセンター→七号線橋経由→真狩川遊歩道経由→真狩野営場
- ・参加班10班を午前・午後で5班に分け、指令書も内容の異なる5通りにした。指令書はキーワードとカラーで識別され、組み合わせると「キ」「ャ」「ン」「プ」「！」の文字が完成し、ソング「キャンプだホイ」を歌ってプログラムを締めくくる。
- ・真狩の自然を知るための指令を用意し、回答用紙に記入してもらう。
- ・真狩村の方々とふれあうために市街地の各施設で真狩村の「いいところ」を聞くよう指令書に明記し、回答用紙に記入してもらう。
- ・道の駅真狩フラワーセンター～真狩野営場までは追跡サインで順路を示す。
- ・スカウト技能を試す場としてプログラムブースを設置。
2ℓ入りペットボトルをロープのみ使って仕切られた範囲から取り出し、そのタイムを競う。
- ・遊歩道に飴入りの風船を仕掛け、スカウトの注意力を引き付ける。
- ・参加記念品として、ネッカチーフを着用した細川たかし氏のシルエットが描かれた「TAKASHI★」ステッカーを贈呈する。

[プログラム内容]

■指令書1：真狩野営場～大井橋

僕のペット



から指令を受け取ってくれ。

by TAKASHI★

キーワードとカラーは誰にも教えちゃダメだぞ。TAKASHI★との約束だ。

- ・「僕のペットから～」：大井橋に熊のぬいぐるみを設置。お腹の部分に5通りの指令書が入っており、各班はランダムに一部受け取り、次の指令に従う。

■指令書2：大井橋～細川たかし像

僕らの飼い主 TAKASHI★ 様からの伝言

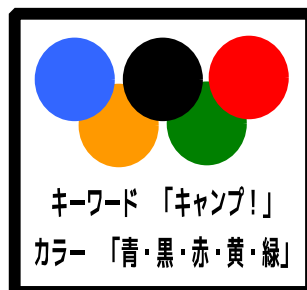
「僕が生まれたこの街には

川がいくつもあるんだ。この先

ゴールまでの橋と川の名前がわかるかな??

まずは次の交差点までまっすぐ進んで、交差点に着いたら

二番目の封筒をあけてくれ。」



TAKASHI★様 は綺麗好き。 街を汚すやつは許さないぞ!!

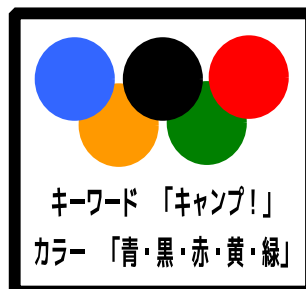
- ・川と橋の答え「福田川：大井橋」「真狩川：真狩別橋」「南別川：南別橋」
- ・交差点には安全確保のために人員を配置（飯田）

曲名：指令書2-2

作詞：TAKASHI★

作曲：君たちの班で決めて♫

僕は歌が好きー♪ 交差点を左に曲がって・・・
真っ直ぐすすむとおー川を背にしてマイクを持って立っているから
会・い・に・来・て (HEY!!・HEY!!)



- ・「川を背にして～」真狩別橋から見える姿をヒントに細川たかし像を目指す。
- ・この指令文は班ごとに内容が異なる。

「そして、僕どの方角を向いているうううう?・・・♫」 答え「南」

「そして、僕は何時からたたされているんだろう・・・♫」 答え「平成6年7月24日」

「そして、僕の持ち歌を調べてくれー♫」 答え「心のこり」「メッセージ」

「北酒場」「浪花節だよ人生は」「矢切の渡し」

「そして、僕の後ろに流れている川のアイヌ語の意味やこの川の由来を調べてほしいいー♫」

答え アイヌ語：「マクカリベツ」奥の方を廻っている川

由来：本流筋の人から見れば、山背からぐるぐる回っていると感じた

「そして、僕の近くに魚がいるらしいので名前とどんな魚が調べてねー♫」

答え「オショロコマ」

- ・次の指令書を細川たかし像前に設置。安全確保のために人員を配置（加藤）

■指令書3：細川たかし像～各施設

TAKASHI★ No. 3

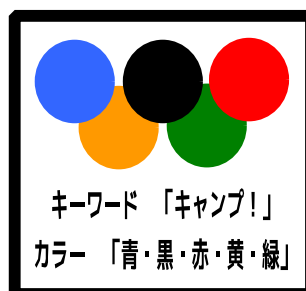
ホウのおすすぬ スポット

トクベツ に おしえるよ?

きねは・・・だ!! ここのひとに

マツカリの「ヤイトコロ」を まいりてごらん。

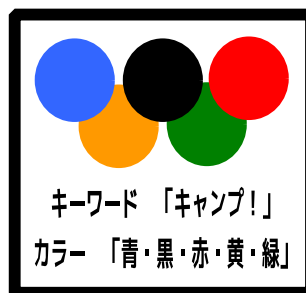
ちゃんと アイカツ してね。



- ・この指令文は班ごとに内容が異なる。
- 「駐在所」「かねまつストア」「羊蹄ハイヤー」「小川屋」（午後）
「HONDA」（午前）「消防署」
- ・各施設の方の協力のもと、スカウトは各施設を目指し、真狩村の「いいところ」を聞き、次の指令書を受け取る。
- ・安全確保のため人員を配置（寺井・柴崎）

■指令書4：各施設～道の駅真狩フラワーセンター

拙者の活躍を
もっと知ってもらうために
道の駅送ってちょんまげ
拙者はそこで待って居るぞ
ついたら二番目の封筒を
あけるがよい。



真狩に生きるサムライ

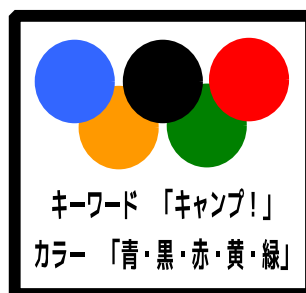
TAKASHI★

- ・安全各保のため人員を配置（今野）

■指令書4：道の駅真狩フラワーセンター～真狩野営場

TAKASHI★の真実

よくまてくれたね。ココで
10分くらいまじゅうにしましょう☆



この場所がボクのここに1分合ったことを
2・3分にはくれないだろうか？
まじゅうに！ あわたらあうたんぼどうをわたって足元をよく見て
やえしように帰ろう！！

中にボクも君たちも大スキまじゅうにあるから色のおくろまてね♥

- ・道の駅真狩フラワーセンター到着後、10分程度休憩時間を与える。
- ・道の駅真狩フラワーセンター内には細川たかしの展示があるのでそこでわかったことを回答用紙に書き込む。
- ・安全確保のため人員配置（柴崎・飯田・今野）
- ・「足元をよく見て～」：道の駅真狩フラワーセンター～真狩野営場までは追跡サインを用いて順路を示す。
- ・「中にボクも君たちも大スキなアレ～」：風船に入れた飴。各班のカラーの風船を1つ受け取り、飴を獲得する。
- ・スカウト技能を試す場としてプログラムブースを設置
スカウトには予告無しで設置。2ℓ入りペットボトルをロープのみ使って仕切られた範囲から取り出し、そのタイムを競う。運営（村田・加藤）
- ・安全確保のため人員配置（飯田・柴崎・寺井）

■真狩野営場到着

- ・到着後、回答用紙を回収、答え合わせを行う。
- ・キーワードとカラーを拡大した用紙を各班に渡し、組合わせて「キ」「ヤ」「ン」「プ」「！」の文字を完成させる。
- ・文字が完成したところでソング「キャンプだホイ」を全員で歌う。

キャンプだホイ

キャンプだホイ キャンプだホイ キャンプだホイ ホイ ホイ

キャンプだホイ キャンプだホイ キャンプだホイ ホイ ホイ

初めて見る山 初めて見る川 初めて泳ぐ海

今日から友達 明日も友達 ずっと友達さ

- ・「キャンプだホイ キャンプだホイ キャンプだホイ ホイ ホイ」
一回目は「ホイ」のカラーの部分各班ごとに拳を上げて叫ぶ
二回目は「ホイ」を一班ずつ増やし、拳を上げて叫ぶ
- ・プログラム終了後、参加記念品「TAKASHI★」ステッカーを贈呈する。
- ・プログラム終了後、追跡サイン撤去・プログラムブースを撤去する。

かいとうようし★

★ はんの なまえ をいれてください。 ★

○ _____ 班



★（指令 2-1）ペットから受け取った指令の答え

○ _____ ○ _____

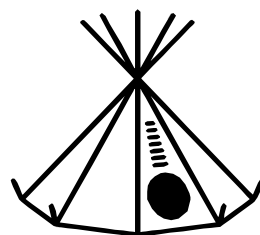
○ _____ ○ _____

○ _____ ○ _____

○ _____ ○ _____

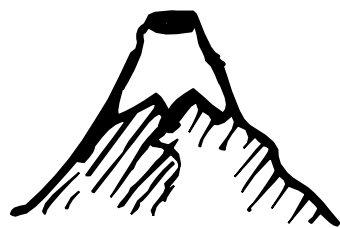
★（指令 2-2）1つ目の交差点で読んだ指令の答え

★（指令3）どこ行った？



内容は？

★（指令4）調べたことは？



ともに進もう 真の頂へ

HOKKAIDO CAMPOREE 2012 MAKKARI

プログラム「シティースイープ」 評価・反省

【運営体制】

- スカウトには指令書・追跡サインによって順路を示し、真狩村を散策する。
 - ・大きくコースを外すスカウトが現れず、ほぼ順路通りに散策できていた。
 - ・指令書の不備・誤植により一部の班に混乱を招き、最初に到着した班と最後の班との間が大きく開きプログラム終了時間をかなり遅らせてしまった。
- 「細川たかし像」・「道の駅真狩フラワーセンター」等、市街地の各地を散策や地元の方々との交流によって、真狩村の魅力を知る。
 - ・「駐在所」「かねまつストア」「羊蹄ハイヤー」「小川屋」「HONDA」「消防署」の方々にご協力いただいたことにまず感謝したい。
- スカウト技能やパトローリングを試す場としてプログラムブースを設置する。
 - ・ロープワークを使ったプログラムを行った。
 - ・時間の関係上、全スカウトを参加させることができなかった。
- 少人数での運営なので、安全確保の人員をスカウトの進行具合に合わせて、ローテーションによって配置する。
 - ・事前の打ち合わせ通りではなかったが、携帯電話による連絡で、スカウトの進行に合わせた配置に成功した。
- プログラム終了後にスカウト全員でソングを歌い、参加記念品を贈呈する。
 - ・時間内に全スカウトが到着しなかったため、ソングはキャンプファイアー時に時間をいただき、行った。
- スカウトの進行状況やプログラムの進捗状況を携帯電話・トランシーバーを用いて連絡交換を行う。
 - ・報告・連絡・相談を瞬時に行うことができた。
- プログラム終了後は直ちに資材を撤去・回収する。
 - ・最後尾のスカウト班を尾行しながら、速やかに撤去した。

【企画・計画・その他】

- 評価
 - ・自由な発想により、プログラム内容を決められた。
- 反省
 - ・各種報告が期日を守れなかった
 - ・各種準備も計画性に欠けており、プログラム開始までその作業に追われた。

共に進もう 真の頂へ

under 30

ボーイスカウト北海道連盟 ローバースカウト・若手指導者

平成24年10月10日

北海道キャンポリー2012 under30 ローバースカウト・若手指導者一同